

■ **ボンゴシの経年変化** ～設置から21年後の姿～
＜江東区立若洲公園＞

施 工/1991年
撮 影/2012年3月



【横木】腐食は見られない。



若洲公園の散策路(サイクルロード)に、木柵がせっちされている。横木、支柱ともにボンゴシが使われている。1991年竣工で今年21年目を迎える。強度と塩害という一般的には良い条件とは言えないが、ここではそれが幸いし、20年が経過した今もほとんど腐食が見られない。維持・管理面での経済的な貢献は大きい。

グリーンハートも20年を越える事例が増えている。若洲公園のように、環境に左右されることなくその耐久実績を伸ばしている。木は腐るといふ改めなければならない時代を迎えた。



【支柱】全体の1割弱が根元で腐食が見られる。国内では、一般的にボンゴシは十年程度で腐食しているが(長崎ハウステンボス、横浜シーパラダイス)、この公園は海に面しているため、塩と強い風による乾燥で耐久性が増したと思われる。根本部に鋼管を施していれば30年位は耐えられると思われる。

【江東区立若洲公園・木柵】
支柱/ボンゴシ(アゾベ) 150×150、横木/ボンゴシ(アゾベ)